

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
工藤 幸一			
B (経営学科)	S (専門科目)	SM (演習)	402 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	経営学研究の実践的な方法や最新の知識や手法、自ら学び続ける態度や課題解決力と自発的、創造的な学修態度を育てることを目的とする。学生自ら興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定するとともに、各自の研究課題に則した研究計画の策定から、各自の研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果に関する成果発表に向けた指導を行う。		
授業計画	<p>教科書「ベンチャー・マネジメント [事業創造] 入門」を各自分担してレポート発表・質疑・応答</p> <p>レポート作成・発表の指導 専門書・資料の読み方の指導 卒業論文のための資料収集方法の指導 4年次の卒業論文のテーマ設定の指導 卒業論文に繋げるレポート作成・発表 就職活動について指導・アドバイス</p> <p>予習 (時間) : ゼミ生は、テキスト「ベンチャー・マネジメント [事業創造] 入門」の各章のレポートを担当するので発表準備のための資料収集をし、レジュメを準備する。(120) 復習 (時間) : 各章のレポートを担当者は発表内容に対する質問や質疑応答などを総合的に検討しレポートを作成する。(120)</p>		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>講義や演習、特に卒業研究で培われた調べる力、考える力、表現する力、協働する力をさらに伸ばし、生涯にわたり学び続ける姿勢を身につける。</p> <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力</p>		
到達目標	卒論のテーマを設定する。		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	なし		
履修上の注意	<p>教えてもらうという学修態度ではなく、自分自身で研究テーマを設定して特定の課題の理解を深めていき自分自身の研究目標を見つけようという姿勢が必要である。研究テーマは個別指導を行うが自分の生活の中の社会現象に関する興味、疑問などを調査・研究し積極的に発表していくことが必要であると同時に、他のゼミ員の考え方・意見を積極的に聞くという姿勢が必要である。こうしたことから毎回ゼミへの出席が絶対条件となる。ゼミの運営はゼミ員の自主性を尊重し、ゼミ員の自主的計画にもとづく現地見学、研修旅行なども実施したいと考えている。</p>		
成績評価の方法・基準	ゼミは遅刻、欠席しないことが絶対条件である。ゼミにおける課題発表の内容 (35%) ・意欲 (15%) ・発言 (15%) 、提出レポート (35%) による成績評価をおこなう。		
教科書	「ベンチャー・マネジメント [事業創造] 入門」 著者名：長谷川博和著 出版社：日本経済新聞社 発行年：2010年 価格：3150円		
参考書・教材	【参考書】適宜紹介する		
備考	講義科目		
教員との連絡方法	大学ドメインのメール、Mellyの併用。		